

ご案内

第13回ゆずり合い、助け合い、学び合う会

主催:一般財団法人わびあいの里
運営:学習会実行委員会

新春を迎えるにあたり、皆様方には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。沖縄では、昨年末「オール沖縄」の民意の勝利に、感動さめやらず「いい正月」を迎えたのもつかの間。日本政府の陰湿な翁長新知事いじめと、辺野古に対する暴挙の年明けとなりました。

さて、月日の経つのは早いもので、「わびあいの里」第13回目「学び合う会」の季節がやってまいりました。今年も県内や本土から大勢の方々がご参加され、学び合う機会をつくるべく準備をすすめております。

日本の政治の未来が見えず、国民に大きな不安を与えております。安倍政権の憲法改悪への動きなど、戦前と同じく国を滅ぼしかねないこの悪政に、国民として、どう対峙し、抵抗し、平和と民主主義、人権をどう守り通していくか、国民的大きな課題を今、逆に押しつけられております。

他方、沖縄においては普天間飛行場の移設を名護市辺野古の海を埋め立て、新しい基地を造り、戦争の準備をすることに対して、県民として反対し続けなければいけません。

また、ここ伊江島においてはオスプレイの配備から、年間**7000**回に及ぶ異常な訓練回数をはじめとして、地下ダム工事のための移転、という口実で米軍の通信施設が大規模に拡大、新基地建設を思わせるほどの状態になっており、3月から工事が始まります。このように、遠く離れた離島であり、報道される機会も少ない影で、伊江島は着々と戦場の様相を呈しています。小さい島の中では、なかなか反対の声を上げにくい状況もある中ではありますが、今年も私たちは、昨年と同じように学習会の前段に、オスプレイ配備及びF35の新たな配備反対の抗議集会をもち、平和の声を上げてゆく計画です。

日本の戦争国家への歩み、日本政府の沖縄県民の「民意」を無視した基地の理不尽な押しつけに屈することなく、不正と不条理を跳ね返していく「知恵と力」を学び合うための学習会にしたいと願っております。

県内外から、多くの方々のご参加を心からお願いします。